

事業実績シート（研修及び調査・研究）

1 事業の概要

協会事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 研修機関派遣事業（ <input type="checkbox"/> 市町村アカデミー <input type="checkbox"/> 国際文化アカデミー <input checked="" type="checkbox"/> NERC） <input type="checkbox"/> 地方4団体研修及び調査・研究事業			
自治体(団体)事業名	吉崎市研修機関派遣事業			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	吉崎市	総務部総務課	原田陽一	0920-48-1111
事業期間	開始年	平成 6年10月15日（25年目）		
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[]			
実施期間	(開始日)平成30年 8月31日 (完了日)平成30年 8月31日			
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
	(委託内容)			
研修及び調査・研究の目的 ※実施前に予想していた目標・目的を記載ください。	対象(誰を・何を)		目標・目的	
	吉崎市職員		社会経済の急速な進歩や変化に対応し、建設技術の知識習得と能力向上を図り、研修を通じて住民の福祉と地域の振興に資することを目的とする。	
研修及び調査・研究の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように記載してください。	<p>公益財団法人長崎県建設技術研究センターにおいて開講される市町職員を対象とした研修に職員を派遣し、建設技術に関する専門知識を習得することにより、建設工事の現場管理などの向上を図り、より一層の住民の福祉と地域振興に資するために実施している。</p> <p>本助成事業は、研修受講に要する旅費等の費用について、助成を受けることにより、当該研究センターでの研修受講を促進し、職員の能力向上により地域振興等を目的とした事業である。</p>			
研修及び調査・研究の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景)			
	<p>平成6年度に、公益財団法人長崎県建設技術研究センターが設置され、長崎県下市町の建設技術等の向上により、公共施設等により良質なサービスを県民に提供できるよう研修が開講され、職員の派遣が行われている。</p>			
(経緯・現状)				
<p>地域住民から高度で専門性の高い知識を求められている現状にあり、当該研究センターの研修を受講させることにより、ニーズに応えられる職員の確保することが必要であるため、派遣を実施している。</p>				

事業実績シート（研修及び調査・研究）

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）		70,700	95,190	31,740				
(財源内訳)	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	市町振興共同事業助成金	47,132	63,459	21,160				
	一般財源	23,568	31,731	10,580				
目標・目的指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	公益財団法人長崎県建設技術研究センター	年度内派遣職員数	人	目標	2	3	1
					実績	2	3	1
				目標達成率（％）		100	100	100
	②				目標			
					実績			
目標達成率（％）								

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 実施することによるメリット
	<p>(内容、程度等)</p> <p>職員の技術向上等による効果を目的とするため、当該事業を実施する必要がある。日々進歩している建設技術等の知識を習得した職員を確保するため今後も継続する必要があります。</p> <p>また、当事業を中止した場合、専門性の高い知識の習得の機会を著しく損ねることとなる恐れがある。</p>

事業実績シート（研修及び調査・研究）

4 有効性の点検、実現性の点検

有効性の点検	(1) 目標（目的）指標の達成状況	
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標を下回った	
実現性の点検	(2) 実施前、想定していた目標・目的が達成できた理由またはできなかった理由	
	計画どおりの職員の派遣が達成できた	
実現性の点検	(1) 事業への反映	(具体的内容)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できる <input type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できない	職員を派遣し受講させることで、新たな技術と知識を習得することにより建設事業等に役立てられることが見込まれる。
	(2) 公共性の評価	(具体的内容)
	本研修及び調査・研究を通じて <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できる <input checked="" type="checkbox"/> 住民へ利益を将来的に還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できない	即効性はないが、建設事業の実施に際して、習得した知識等を生かし、設計・施工することにより十分に利益を還元することが見込まれる。

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了（完了）		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期						
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> 目標・目的未達成	<input type="checkbox"/> 目標・目的達成	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合			<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期						
実現性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業へ反映	<input type="checkbox"/> 事業に反映できない	<input type="checkbox"/> その他			<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期						
具体的内容	即効性のある事業ではないが、職員の技術向上等による効果を目的とするため、当該事業は、必要不可欠であります。また、代わりとなる研修機関もなく、日々進歩している建設技術等の知識を習得した職員を確保するため、今後も継続していく必要があります。					